

水質職 令和3年入団

広域水質管理センター所属

私たちが作った水が 各家庭に届いている

—これまでどんな仕事をしてきましたか

水質管理班担当として、内部精度管理、教育訓練報告書などの記録類の管理や水質検査結果の送付に関する業務を経験しました。また、水質検討部会など会議の事務局として、基本的な資料や会議録の作成、日程調整などの業務を行いました。

楽しかった仕事は会議の事務局として各種会議への参加です。水質分析を行っているだけでは触れることの少ない、将来の水質の在り方や、広域水質管理センターの業務など「水質職」をより広い視野で把握する機会になりました。同時に、入団したばかりで、「水道」に関する知識が少ないため、会議の内容を理解することに苦労しました。しかし、仕事の中で少しずつ知識を増やそうと努力することで、一年で多くのことを吸収できたと感じています。

—今はどんな仕事に従事していますか

水質分析や調査・研究等にも従事しています。

はじめは毎日のルーチン業務である、一般項目の検査担当者に認定されました。現在では、かび臭測定に必要なガスクロマトグラフ質量分析装置や陰イオンを測定する

イオンクロマトグラフ装置など、徐々に実施できる試験が増え、各種試験を担当しております。

調査・研究については、水源調査のデータ化や、新たなデータ解析方法の検討など、将来に関わる調査・研究項目が多く、とてもやりがいを感じています。

—企業団の仕事のやりがいはなんですか

私たちが作った水が各家庭に届いているということ、自分自身が生活をするうえでも実感できるため、とてもやりがいの感じられる仕事であると思います。入団するまで水道に関して深く考えたことがなく、「自宅の蛇口をひねったら水が出る」ということが当たり前と感じながら生活してきました。しかし、実際に企業団で働く中で、「水道」は多くの人や技術の上に成り立つものだと再認識できました。

企業団に入団することで、人々の生活に必要な不可欠な「水道」を支える一人になれるということに、大きな魅力を感じています。



一人で抱え込まなくても大丈夫

—職場の雰囲気について教えてください

先輩方が皆さんとても優しく、分からないことはすぐに聞ける雰囲気であると感じています。私自身、質問することがあまり得意でなく、さらに新卒であったため、水道業務のことはもちろん、社会人としてのマナーなどにも疎かったと感じていましたが、気軽に話せる先輩方が近くにいてくださったため、自分一人で抱え込まずに済みました。

—趣味やストレス解消法について教えてください

趣味はテレビドラマや映画を見ることです。休日に映画館に行くことや、平日にテレビドラマを見ることを楽しみに生活しています。ストレスがたまった際は、入浴して解消しています。熱めのお湯を湯船にはり、入浴剤を入れて入ることが好きです。入浴中は心身ともにリラックスでき、その後の寝つきもよくなるため、おすすめのストレス解消法です。



平日は基本的に早く帰宅できるため、プライベートの時間を十分に確保できています。好きなことをして過ごせるので、オンオフの切り替えもしっかりと行うことができ、翌日も「今日も頑張ろう」という気持ちになれます。

—将来の目標、目指していることについて教えてください

将来は、後輩に尊敬してもらえるような先輩になりたいです。私の職場の先輩方は、こんなことも知っているのか、と驚くような知識を教授してくださる方や、十分経験の豊富な方であるにもかかわらず、常に学ぼうとする姿勢を持っている方々ばかりで、毎日とても刺激を受けています。今私が、先輩方を尊敬し、先輩の様になりたいと感じている気持ちを、いつか私の後輩にも持ってもらえるような人になることが目標です。

—受験者の方にメッセージをお願いします

何事にも一生懸命に取り組む気持ちがあれば、水道に関する知識がなくても心配いりません。知識に関しては、入団後に先輩方が一から少しずつ教えてくださいます。悔いの残らないように、就職活動、頑張ってください!



※内容はインタビュー当時の内容になります。